

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	甲・ <input checked="" type="checkbox"/> 乙 第 3186 号	氏名	濱川 真治
論文審査担当者	主査 松山 高明 教授 副査 武井 秀史 教授 副査 根本 哲生 教授		
<b>論文題名</b> 試験管法を用いたセルブロックにおける垂直断面（VSS）観察と水平断面（HCS）の腫瘍細胞分布と細胞量			
<b>掲載雑誌名</b> 日本臨床細胞学会雑誌 第 61 巻 5 号 2022 年 掲載予定			
<p>細胞診検体によるセルブロックにおいて、標本作製方法は多岐にわたり、細胞形態のみならずガラス標本上に含まれる腫瘍細胞の量や含有率の標準化は必須の課題である。濱川らは、遠心分離で得られた細胞沈渣塊を沈渣層最表面からの水平断面観察で腫瘍細胞が認められない問題点に対し、自由に切断可能な試験管法を考案し、垂直断面観察によるガラス標本上の腫瘍細胞分布と細胞量 について、検体を腫瘍細胞 100 個以上（TC-H）と 100 個未満（TC-L）の 2 群に分けて HCS 観察と比較検討した。その結果、TC-H、TC-L の 2 群共に垂直断面は水平断面よりも検体内の特に中層や下層に多く偏る腫瘍細胞分布がみられ、腫瘍細胞やその集塊の大きさ、比重、細胞量によって標本内の分布に偏りが生じるものと考えた。試験管法による垂直断面観察は腫瘍細胞分布や細胞量のより正確な評価が可能であり、さらに腫瘍細胞含有率評価へ応用が期待され、分子病理学的検査の精度向上や標準化に貢献すると考えられる。</p> <p>本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)